

## 内陸部の災害公営住宅 完成第1号 県営備後第1アパート8号棟(24戸)が完成しました！

県では、東日本大震災津波の被災者のうち、内陸部に避難され、すでに生活の基盤を築いている方の住まいの確保を図るため、内陸部に災害公営住宅303戸の整備を進めています。

このうち、盛岡市に整備する「県営備後第1アパート8号棟(24戸)」が平成30年2月28日に完成し、3月9日から入居が始まりました。

県営備後第1アパートの災害公営住宅は、8号棟の他に、9号棟(18戸)、10号棟(8戸)が整備されることとなっており、平成30年9月中の完成を目指して工事を進めています。

また、内陸部に整備する災害公営住宅は、平成31年度内の全戸完成を目指して整備を進めています。

引き続き、被災者の一日も早い生活再建に向けて、取組を推進していきます。

【内陸部に整備する災害公営住宅(市町村別)《H30.2末時点》】

	盛岡市	北上市	奥州市	一関市	花巻市	遠野市	計
事業主体	県	県	県	県	市	市	
整備戸数	168	34	14	35	30	22	303
着工戸数	50	0	0	0	0	8	58
完成戸数	24	—	—	—	—	0	24

■県営備後第1アパート配置図

